

ららら♪プレミアムコンサート

聴衆を熱狂させるカリスマ石田泰尚と
神奈川フィルが誘う
新境地『石田Salon』

特別編成の俊才オーケストラが、
まるで社交場で奏でるような親密で濃密な響きを届ける。
正統派クラシックの美しさと、革新性あふれる選曲が融合した
“サロン・オーケストラ・コンサート”。
唯一無二! 聴く者の心を揺さぶる、洗練のひとときを。

東京完売公演、待望の福岡へ

～石田泰尚×神奈川フィル～

石田Salon

FUKUOKA

〈プログラム〉フォーレ:シシリエンス Op. 78/ドビュッシー:亜麻色の髪の乙女/クライスラー:愛の悲しみ/
クライスラー:シンコペーション/サン=サーンス:交響詩「死の舞踏」Op. 40より/ピアソラ:アヴェ・マリア/
ピアソラ:レピラード/マンシーニ:ひまわり/モリコーネ:ニュー・シネマ・パラダイス「愛のテーマ」/ほか
(詳細裏面) ※演奏曲目は変更になる場合があります。

2027年 2月22日(月) 開演19時(開場18時)

福岡シンフォニーホール(福岡市・天神 アクロス福岡)

出演:石田泰尚(ヴァイオリン)/神奈川フィルハーモニー管弦楽団の精鋭18名

S席7,500円/A席6,500円/B席5,500円(税込 全席指定)

※未就学児は入場不可。※やむを得ない事情により内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

主催:一般社団法人らららクラブ 共催:読売新聞社 後援:福岡市 企画制作:神奈川フィルハーモニー管弦楽団 提供:WEBマガジン《ららら♪クラブ》

問合せ:らららクラブ 03-5860-7539(月・水・金 12時～17時) contact@lalalacub.com 公式サイト:https://lalalacub.com/isf/

〈プレイガイド〉

◇アクロス福岡チケットセンター

(TEL 092-725-9112)

◇アクロスWEB チケット

◇チケットぴあ(Pコード 336-002)

◇ローチケ(Lコード 82522)

◇イープラス

一般発売日 2026年10月10日(土)

※ 詳細は公演HPで



『石田Salon FUKUOKA』～石田泰尚×神奈川フィル～

聴衆を熱狂させるカリスマ石田泰尚と神奈川フィルが誘う新境地『石田サロン』

「石田組」のリーダーとしても活躍するヴァイオリニスト・石田泰尚が、自身が首席ソロ・コンサートマスターを務める神奈川フィルの精鋭メンバーと贈る特別企画『石田Salon』。クラシックの名曲から映画音楽、ピアソラまで、ジャンルを超えた珠玉のプログラムと新オリジナル作品をお届けする、プレミアムなサロン・コンサートが福岡で初開催。

〈演奏予定曲・ピックアップ紹介〉

◎フォーレ：シシリエンヌ Op. 78

フォーレの代表作のひとつに位置付けられる。流麗なアルペジオの上で歌われる短調の部分では薄日が差すかのように長調の響きが混ざり、ピアノとヴァイオリンが歌いかわす長調の部分では短調の響きが影を落とす。

◎ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女

《前奏曲》第1巻に収録された本作は、素朴で優しいどこか郷愁を誘う旋律に、ドビュッシーらしい繊細な和音が寄り添う幻想的な美しさが多くの人に愛されている。まさにフランス近代音楽を代表する一曲。

◎クライスラー：愛の悲しみ

1905年に出版された、《愛の喜び》と対になる作品。緩やかな三拍子のリズムの上で、ヴァイオリンが哀愁漂う旋律を歌い上げる、穏やかな作品。中間部の明るい旋律も美しい。

◎クライスラー：シンコペーション

タイトルのとおりシンコペーションを駆使している。二拍子の舞曲ふうの旋律が、途中からシンコペーションを散りばめられたものに変化する。旋律の甘美さとリズムの軽さがかみ合った美しい小品。

◎サン＝サーンス：交響詩「死の舞踏」Op. 40より

深夜の墓場に死神が現れ、ヴァイオリンを弾き始めると、骸骨たちが踊り出す。骨と骨がぶつかり合い、乾いた音が響く。朝を告げる雄鶏の鳴き声が聞こえ、骸骨たちは墓場へ戻ってゆく。音による絵画というべき交響詩。

◎ピアソラ：アヴェ・マリア

1984年のイタリア映画『エンリコ4世』のために書かれたオーボエとピアノのための小品にのちに歌詞がつき、歌曲《アヴェ・マリア》として生まれ変わった作品で、ハーモニーの美しさが印象的。

◎ピアソラ：レビラード

「ひねくれ者」というニュアンスのタイトルをもつ本作は、リズムカルな部分とメロディアスな部分の対比が見事で、予測不能な展開が面白い。ピアソラ自身も気に入って、生前に何度も演奏していた作品。

◎ロシア民謡：黒い瞳

ロマの女性の魅力にとりつかれた男性の苦悩を歌った、ロシア民謡を代表する一曲。オペラ歌手のフォードル・シャリアピンがロシアから亡命後に各地で愛唱したことで世界的に人気を博した。

◎モリコーネ：ニュー・シネマ・パラダイス「愛のテーマ」

ある映画監督の、シチリア島で映写技師として働いた少年時代、そして青年時代の恋を描く、映画ファンに愛される傑作。繊細な和音の上で奏でられる〈愛のテーマ〉は、懐かしさと愛おしさが胸に広がる旋律が美しい。

〈その他の演奏予定曲〉

◎山下康介：Timeless Violin オープニング Ver.

◎ドビュッシー：ゴリウォーグのケークウォーク

◎ミッシェル・ルグラン：シェルブールの雨傘

◎ロドリゲス：ラ・クンパルシータ

◎マンシーニ：ひまわり

◎マーヴィン・ハムリッシュ：映画「追憶」よりテーマ

◎アブレウ：ティコ・ティコ・ノ・フバー

◎ゲーゼ：ジェラシー

◎山下康介：Timeless Violin エンディング Ver.

※演奏曲目は変更になる場合があります。



石田泰尚
Yasunao Ishida (ヴァイオリニスト)

神奈川県出身。2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来「神奈川フィルの顔」となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル「石田組」など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。

2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。2024年には石田組で日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。最新アルバムは『石田組 結成10周年記念2024・春』。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。



神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra

1970年神奈川県を本拠地とする唯一のプロ・オーケストラとして発足。地域に密着した音楽文化の創造をミッションとして、神奈川県全域をはじめ、全国各地で幅広い活動を続けている。1978年に一般財団法人、2014年には公益財団法人として認定されている。横浜・川崎を中心とした定期演奏会や県内各地を回る巡回公演などの主催公演を開催。音楽教育にも積極的で、小中学校での音楽鑑賞教室を全国各地で開催し、広い世代に音楽の魅力を伝えている。また、医療機関や特別支援学校への出張演奏も行っている。指揮者陣には、音楽監督に沼尻竜典、名誉指揮者に現田茂夫、特別客演指揮者に小泉和裕を擁しており、人気・実力ともに益々注目されているオーケストラである。

